



令和3年7月1日(木) no. 15 文責：上田  
**梅雨末期の大雨に注意を**



連日、35度近い猛暑が続いています。暑さ指数 WBGT が31(「危険」屋外での活動をひかえるレベル)を超える日もあり、子ども達に熱中症予防の注意喚起を行っています。

さて、梅雨末期を迎えています。昨年7月には県南豪雨がありました。今一度、ご家庭でも大雨、土砂災害等についての対策を確認いただきたいと思います。本日1日(木)の熊日新聞に、架空の高齢者夫婦をモデルに避難行動につながるヒントが掲載されていたので、その一部を要約して紹介します。

- ① 心配性バイアスで一押し……子や孫のことだと心配になるものです。自分だけではなく同居に関わらず家族からの声かけをしましょう。
- ② 避難スイッチを決める……避難するきっかけとなる避難スイッチを決めておく。身の回りの異変や災害警戒情報、そして近所の呼びかけも避難スイッチとなります。
- ③ 空振りを恐れない……避難して何事もなければ幸い、素振りも大切な練習だと考えなおしてみることが大切です。
- ④ セカンドベストのすすめ……「最善」の次の「次善」がセカンドベストの考え方です。災害時は避難経路・場所を複数考えておくことが大切です。

ところで、6年生の修学旅行を4日・5日(日・月)に予定しています。大雨にも備えて、無事に学習を終えたいと思います。もちろん、コロナ対策も忘れずに行います。

## タブレットの持ち帰りを始めました

先日連絡したように、本校では、3年生以上でタブレット PC の家庭での持ち帰り学習を始めています。家庭学習計画表にしたがって e ライブラリの課題に取り組んでいる様子が多くの家庭で見られていると思います。まだ慣れずにいる子も多いかと思いますが、朝自習等で使い方の習熟も図っていきます。

今後、家庭のネット環境等について、調査をお願いする予定です。これは、オンラインでしか取り組めない課題にも取り組ませるための基礎調査です。ご協力をよろしくお願いいたします。また、近日、村から準備いただいたタブレット保護ケースを配付します。タブレットの取り扱いに注意を呼び掛けていただきますようお願いいたします。